

作成日: 2017年5月30日

## 安全データシート(SDS)

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : パーフィクス エポプレミックス(PE-400、PE-400J) 主剤  
会社名 : エヌパット株式会社  
住所 : 大阪市港区海岸通 4 丁目 4 番 10 号  
担当部門 : 営業部  
緊急連絡先 : (06)6576-5101

## 2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 2

皮膚感作性: 区分 1

発がん性: 区分 2

環境有害性

水生環境有害性(急性): 区分 1

水生環境有害性(長期間): 区分 1

GHSラベル要素



注意喚起語: 警告

危険有害性情報

H315 皮膚刺激

H319 強い眼刺激

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H351 発がんのおそれの疑い

H400 水生生物に非常に強い毒性

H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

P201 使用前に取扱い説明書を入手すること。

P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

P273 環境への放出を避けること。

P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

P264 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

P280 保護手袋を着用すること。

P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

P280 保護眼鏡/保護面を着用すること。

P280 指定された個人用保護具を使用すること。

応急措置

P391 漏出物を回収すること。

- P321 特別な処置が必要である。
- P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。
- P302 + P352 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
- P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
- P333 + P313 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
- P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- P305 + P351 + P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用している場合、容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P337 + P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

貯蔵

- P405 施錠して保管すること。

廃棄

- P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：  
混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.	化管法政令番号
ビスフェノールAエポキシ樹脂	55 - 65	25068-38-6	-
酸化チタン(IV)	1 - 10	13463-67-7	-

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

酸化チタン(IV)

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

酸化チタン(IV)

GHS分類区分該当有害成分

環境シンボル該当成分

ビスフェノールAエポキシ樹脂

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

直ちに医師に連絡する。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

---

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

#### 適切な消火剤

- 泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用すること。
- 周辺設備に適した消火剤を使用する。

---

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 適切な保護具を着用する。

### 環境に対する注意事項

- 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

### 二次災害の防止策

- 漏出物を回収すること。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

##### (取扱者のばく露防止)

- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

#### 安全取扱注意事項

- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 保護手袋を着用すること。
- 保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 指定された個人用保護具を使用すること。

### 配合禁忌等、安全な保管条件

#### 適切な保管条件

- 施錠して保管すること。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理指標

#### 許容濃度

##### (酸化チタン(IV))

日本産衛学会(2013) 0.3mg-ナノ粒子/m<sup>3</sup>

##### (酸化チタン(IV))

ACGIH(1992) TWA: 10mg/m<sup>3</sup> (下気道刺激)

#### 作業環境許容濃度(中国 GBZ 2.1-2007)

##### (酸化チタン(IV))

PC-TWA: 8 総粉じん-mg/m<sup>3</sup>

#### OSHA-PEL

##### (酸化チタン(IV))

TWA 15mg/m<sup>3</sup>

### 衛生対策

- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状態

形状：ペースト状

色：白色

臭い：微臭

引火点：135<°C

比重/密度: 1.3

溶解度

水に対する溶解度：ほとんど不溶

溶媒に対する溶解度：ほとんどの有機溶剤に易溶

---

## 10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

混触危険物質

酸、塩基、酸化性物質、硬化剤成分

---

## 11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

労働基準法: 疾病化学物質

ビスフェノールAエポキシ樹脂

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

ラビット 刺激性 (GERI/ハザードデータ集 2001-36, 2002et al)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(酸化チタン(IV))

ラビット 軽度の刺激性 (IUCLID, 2000)

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

ラビット 軽度の刺激性 (GERI/ハザードデータ集 2001-36, 2002)

感作性

感作性[厚労省局長通達]

ビスフェノールAエポキシ樹脂

皮膚感作性

[日本公表根拠データ]

(ビスフェノールAエポキシ樹脂) cat.1; DFGOTvol.19, 2003

生殖細胞変異原性

[厚労省局長通達]

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

発がん性

[日本公表根拠データ]

(酸化チタン(IV))

IARC (Monograph Vol.93, in preparation) 粒径10-50nm Gr.2B

(酸化チタン(IV))

IARC-Gr.2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(酸化チタン(IV))

ACGIH-A4(1992): ヒト発がん性因子として分類できない

(酸化チタン(IV))

日本産衛学会-2B: 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

---

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

#### 水生毒性

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

#### 水生毒性(急性) 成分データ

[日本公表根拠データ]

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

甲殻類(オオミジンコ) EC50=1.7mg/L/48hr (CERI・NITE, 2006)

#### 水溶解度

(酸化チタン(IV))

溶けない (HSDB, 2004)

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

0.0000041 g/100 ml (CERI・NITE有害性評価書(暫定版), 2006)

#### 残留性・分解性

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

BODIによる分解度:0% (既存化学物質安全性点検データ)

#### 生体蓄積性

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

BCF <= 42(Check & Review, Japan)

---

## 13. 廃棄上の注意

### 廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

---

## 14. 輸送上の注意

### 国連番号、国連分類

番号 : 3077

品名(国連輸送名) :

環境有害物質、液体, N.O.S.

国連分類(輸送における危険有害性クラス) : 9

容器等級 : III

指針番号 : 171

---

## 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

### 労働安全衛生法

名称表示危険/有害物(令18条)

酸化チタン(IV)

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9)

酸化チタン(IV)

### 消防法

指定可燃物

可燃性固体類(届出数量 3,000kg)

### 化審法

優先評価化学物質

ビスフェノールAエポキシ樹脂  
船舶安全法  
有害性物質 分類9  
航空法  
その他の有害物件 分類9  
バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード  
有害液体物質(X類)  
ビスフェノールAエポキシ樹脂  
有害液体物質(Z類)  
酸化チタン(IV)  
環境有害性  
海洋汚染物質\_急性有害性  
ビスフェノールAエポキシ樹脂  
海洋汚染物質\_長期間有害性  
ビスフェノールAエポキシ樹脂  
適用法規情報  
この物質に関する貴国又は地方の規制を遵守してください。

---

## 16. その他の情報

### GHS分類区分

皮膚腐食性/刺激性 区分 2:H315 皮膚刺激  
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2:H319 強い眼刺激  
皮膚感作性 区分 1:H317 アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ  
発がん性 区分 2:H351 発がんのおそれの疑い  
水生毒性-急性 区分 1:H400 水生生物に非常に強い毒性  
水生毒性-慢性 区分 1:H410 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

- \* 記載内容は、現時点で入手できる情報等に基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。含有量、物理化学的性質は保証値ではありません。また、注意事項は通常取り扱いを対象としたもので、特殊な取り扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施してください。

## 17. 記載内容の問い合わせ先

エヌパット株式会社 技術部  
TEL: 06-6576-5101 / FAX: 6576-5103